

都市再生整備計画 事後評価シート  
警察大学校等跡地周辺地区

平成24年3月

東京都中野区

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都	市町村名	中野区	地区名	警察大学校等跡地周辺地区			面積	21.1ha				
交付期間	平成19年度～平成23年度	事後評価実施時期	平成23年度	交付対象事業費	14,786百万円	国費率	0.409						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路事業(中野区画街路1号線・中野区画街路2号線)、公園事業((仮称)中央部防災公園)、地域生活基盤施設										
		提案事業	まちづくり活動推進事業(囲町地区まちづくり勉強会運営委託・まちづくり協議会への専門家派遣委託)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-		-		-						
		提案事業	まちづくり活動推進事業(まちづくり協議会への専門家派遣委託)		国費対象外事業とした為		国費対象外としたが、区単独費により継続するため、指標及び数値目標に影響はない。						
	新たに追加した事業	基幹事業	-		-		-						
		提案事業	-		-		-						
交付期間の変更	当初	平成19年～平成23年		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
	変更	-		-		-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	警察大学校等跡地地区の都市基盤整備率	%	9.6	H18	35.0	H23	-	35.4	○	あり なし	活力ある経済活動の基盤となる民間施設の導入を図るため健全な土地の高度利用ができた。	平成24年4月
	指標2	警察大学校等跡地地区のみどり率	%	22.4	H18	36.0	H23	-	27.9	△	あり なし	評価時点の数値が低かったが、適切な植栽管理により、確実に効果が発現できる。	平成24年11月
指標3	囲町地区(面積約3ha)の不燃領域率	%	39.0	H18	45.0	H23	-	39.4	△	あり なし	市街地再開発に向けた機運は高まっており、今後都市計画決定につなげることで達成できる。	平成24年11月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1	警察大学校等跡地地区の名称公募に対する応募数	人	123	H18	/	/	/	/	/	名称公募により区民の関心を高めることで、事業効果をさらに高めることができる。	平成24年4月	
	その他の数値指標2	警察大学校等跡地周辺地区の開発協議会等の開催回数	回	1	H19	/	/	/	/	/	住民の意見を取り入れ、民間事業者に空地の確保を促すことで、環境と安全のまちづくりを推進することができた。	平成24年4月	
その他の数値指標3	囲町地区における木造住宅密集市街地解消にむけたまちづくりに関する勉強会の開催回数	回	7	H21	/	/	/	/	/	地区の抱える問題を把握し、改善を図るための市街地再開発に向けた機運が高まった。	平成24年4月		
4)定性的な効果発現状況	中野四丁目地区地区計画区域内の民間事業者の事業進捗を契機として、隣接地区の機運はさらに高まり、平成23年9月5日に住民主導で市街地再開発準備組合が設立された。都市計画決定に向けた事業計画の検討など新たな活動が開始されている。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	毎年度ごとの事業進捗率をモニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				引き続き、データ収集を実施し、安全でみどり豊かな市街地の形成を図る。					
	住民参加プロセス	周辺住民に対する連絡会・任意説明会・意見交換会等を実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				当該区域内において新規事業を開始する前には、必要に応じて説明会、意見交換会等を実施する。					
	持続的なまちづくり体制の構築	市街地再開発準備組合の設立支援		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				市街地再開発準備組合の設立に至ったため、都市計画決定にむけ、支援・助言を継続実施する。					

## 様式2-2 地区の概要

警察大学校等跡地周辺地区(東京都中野区) 都市再生整備計画の成果概要

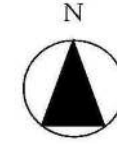
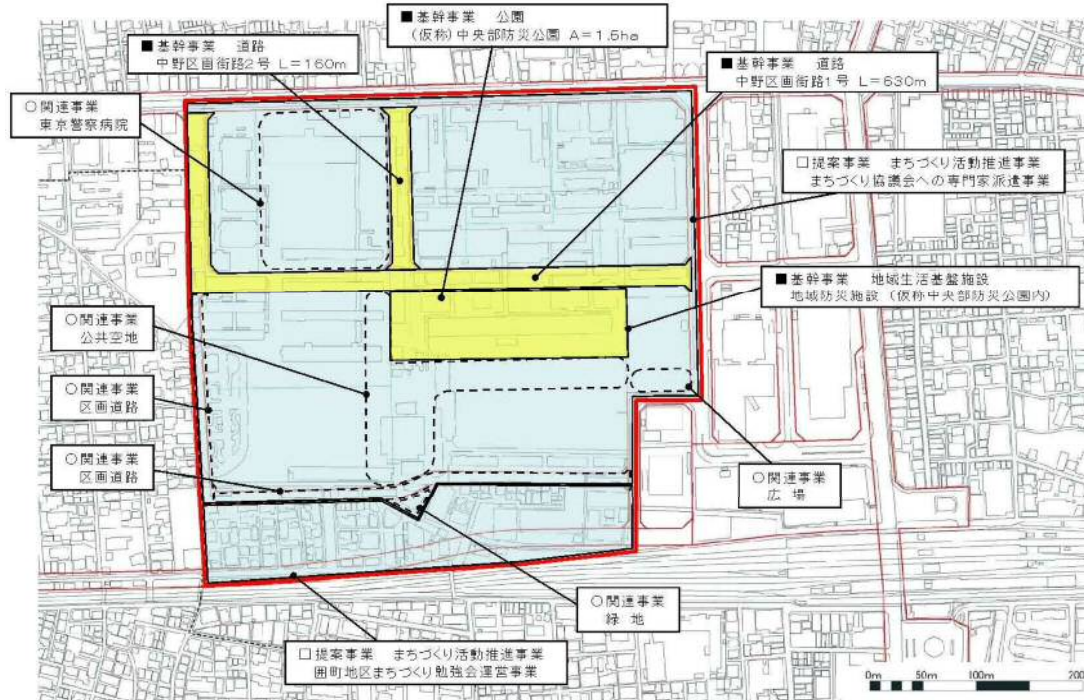
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
<p>◆大目標 中野駅周辺の市街地を、中野の顔にふさわしい、にぎわいと環境が調和したまちとして持続的に発展させるため、警察大学校等移転跡地の土地利用転換を官民協働で実現する。</p> <p>目標1 警察大学校等跡地の土地利用転換において、駅周辺にふさわしい量と質を備えた都市基盤を、民間事業者の活動を誘導しながら整備する。</p> <p>目標2 既指定の広域避難場所「中野区役所一帯」において、地域防災機能の向上を図り、安全、安心な市街地とする。</p> <p>目標3 警察大学校等跡地に隣接する木造住宅密集地域の環境改善を図り、防災上の安全性を高める。</p>	警察大学校等跡地地区の都市基盤整備率	単位: % 9.6	H18 35.0	H23 35.4
	警察大学校等跡地地区のみどり率	単位: % 22.4	H18 36.0	H23 27.9
	団町地区(面積約3ha)の不燃領域率	単位: % 39.0	H18 45.0	H23 39.4
	警察大学校等跡地地区の名称公募に対する応募数	単位: 人 123	H18 -	H23 150
	警察大学校等跡地周辺地区の開発協議会等の開催回数	単位: 回 1	H19 -	H23 22
団町地区における木造住宅密集市街地解消に向けたまちづくりに関する勉強会の開催回数	単位: 回 7	H21 -	H23 25	



■基幹事業 道路整備状況



□提案事業 まちづくり活動推進事業



■基幹事業 公園整備状況

凡例	
<span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	事業区域
<span style="background-color: yellow; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	基幹事業
<span style="background-color: lightblue; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	提案事業
<span style="border: 1px dashed black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	関連事業

まちの課題の変化	区域内の密集市街地の不燃化に向けたまちづくりを継続して支援すると共に、新北口駅前広場構想のある中野駅周辺の安全性及び利便性を向上させる、ゆとりあるオープンスペースを確保しなければならない。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	区域内で事業を行う民間事業者には、みどり環境や公開空地等の整備を促し、安全なオープンスペースの確保に努めていくとともにエリアマネジメント等により有効活用していく。また、密集市街地の不燃化を促進するため、市街地再開発事業の都市計画決定につながる様、引き続き支援する。新北口駅前広場構想のある中野駅との良好な接続を図るため、必要な都市計画決定の手続き等を取り、都市基盤の整備を推進していく。